

Broaden your horizons ～さあ、視野を広げて!～

第106回薬剤師国家試験が終了しました。新型コロナウイルスの影響で、東京の八王子会場では入室作業に手間取り、試験開始が30分遅れるというハプニングが起きました。

試験には、マスクの廃棄やファビピラビルの作用機序を問う問題が出題されました。また、学校薬剤師や健康サポート薬局、妊娠検査薬などの問題も出題されました。医学部のように全文英語問題はありませんでした。選択肢は全て英語という問題はありました。でも、落ち着けば解答できるレベルです。

さらに、「レストレスレッグス症候群（脚の深部に虫が這うような不快感）」という、覚えるのが大変そうな病名も出てきました。メディセレスクール生だけに配布する「裏ポイントブック」にはこの病名が記載されており、授業でもやっているのです。スクール生は分かったと思いますが、現役生には難しかったかもしれません。

予想がたくさん当たってホッとしましたが、これから気になるのは合格ラインです。今年からは相対基準で、出願者数は去年より105人減の1万5,680人。卒業留年生は例年通り卒業率が50%を切る大学も出ています。実際を受験者数が気になるところです。去年の春にも2校薬学部が増えましたが、今年の春にも2校増えます。厚労省が合格者を何人と考えているのか、すでにドキドキしています。

メディセレスクール ファウンダー 児島 恵美子